

2027 年度

大学院医学研究科（博士課程）

学生募集要項

【第1次募集】

出願期間 2026年8月28日（金）～10月6日（火）

試験日 2026年11月6日（金）

【第2次募集】

出願期間 2026年12月1日（火）～12月28日（月）

試験日 2027年1月8日（金）



聖マリアンナ医科大学大学院

St. Marianna University Graduate School of Medicine

大学院医学研究科の目的、教育目標、アドミッション・ポリシー

【目的】

本大学院は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる業務を担うための卓越した能力及び深い学識を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。(大学院学則第2条より)

【教育目標】

医学に関する学術の理論及び応用研究の知識、高度の専門性が求められる業務を担うための卓越した能力及び深い学識、高い倫理観、国際的な視野を備え、文化の進展に寄与する医学研究者・医学教育者・医学に係わる高度専門職業人として成長できる者を養成します。

【入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本学は、キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕しうる人間の育成、ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かして行く医師の養成を建学の精神としております。この建学の精神と本大学院の目的を理解し、医学研究者・医学教育者・医学に係わる高度専門職業人として成長できる者として、以下の資質・能力を身に付けている者を求めます。

■求める学生像

1. 自立した研究者として医学に対して積極的な研究意欲のある者
2. 探求心を不断に持ち、国際的視野に立って医学を研究できる者
3. 新たな知見や技術を理解・吸収し、自ら成長できる者
4. 豊かな人間性と高い倫理観を持ち、人類社会に貢献できる者

■入学までの習得が望まれること

1. 英語論文の読解と作成に必要な基礎英語能力
2. 医学・生命科学領域の研究遂行に必要な、医学部医学科、歯学部、または修了年限6年の獣医学科もしくは薬学部を卒業した者と同等の水準の医学・生命科学の知識
3. 臨床系専攻分野を希望する者は高度先端医療の実践への貢献を目指すことができる医療技術・知識経験等

■入学者選抜の基本方針

1. 語学力を評価するための、外国語（英語）試験の実施
2. 医療人・研究者としての適性、向上心、研究意欲、人間性ならびに専門分野に関する知識や論理的思考等を評価するための、面接試験の実施

目 次

1. 専攻分野および募集人員	2
2. 社会人学生について	3
3. 大学院特待生制度	3
4. 出願資格	4
5. 出願資格審査	5
6. 出願手続	6～8
7. 選抜方法	9
8. 入学試験	10～11
9. 合格発表	11
10. 入学手続	12
11. 奨学金制度	13
12. 学生教育研究災害傷害保険	13
13. 個人情報保護	13
14. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の相談受付	14
15. 問い合わせ先	14
16. 専攻分野・研究指導教員	15～27

1. 専攻分野および募集人員

医学研究科（博士課程）（標準修業年限 4 年）

専攻	専攻分野	募集人員
医科学系	<p>生体構造学、生体統合制御学、疾患プロテオーム・分子病態治療学、臨床微生物・感染制御学、臨床薬理学、病理病態学、再生医学・免疫病態医学、健康・環境制御医学、法医学、難治性疾患病態制御学、総合診療内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、消化器内科学、腎臓・高血圧内科学、代謝・内分泌内科学、脳神経内科学、血液・腫瘍内科学、リウマチ・膠原病・アレルギー内科学、小児科学、神経精神科学、放射線診断・IVR 学、放射線治療学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、消化器・一般外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、小児外科学、乳腺・内分泌外科学、脳神経外科学、整形外科学、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学、形成外科学、救急医学、スポーツ医学、臨床検査医学、臨床腫瘍学、感染症学、リハビリテーション医学、緩和医療学、分子神経科学、バイオインフォマティクス学、周産期発生病態解明学、最新医学研究コース*1、高度臨床医育成コース*2、未来がん医療プロフェッショナル養成コース</p>	<p>60 名 (社会人含む)</p>

* 1 最新医学研究コースは本法人以外に常勤として勤務する者（学外社会人）を対象としており、大学院学生が研究指導教員を選択し研究を行うコースです。

* 2 高度臨床医育成コースは、内科学、外科学、総合診療の 3 コースからなります。

(注)

次の専攻分野の志願者にあつては、原則として、医師法に定める 2 年以上の臨床研修修了者または 2027 年 3 月修了見込みの者であること。

総合診療内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、消化器内科学、腎臓・高血圧内科学、代謝・内分泌内科学、脳神経内科学、血液・腫瘍内科学、リウマチ・膠原病・アレルギー内科学、小児科学、神経精神科学、放射線診断・IVR 学、放射線治療学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、消化器・一般外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、小児外科学、乳腺・内分泌外科学、脳神経外科学、整形外科学、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学、形成外科学、救急医学、臨床腫瘍学、緩和医療学、周産期発生病態解明学、最新医学研究コース、高度臨床医育成コース、未来がん医療プロフェッショナル養成コース

2. 社会人学生について

社会人学生には、次の2種類があります。

- 1) 本学に常勤教員として勤務している者、または2027年4月入学時点で本学の常勤教員として採用予定の者であり、いずれの場合も入学後も継続してその身分を有する者。
出願に当たっては、職務と学修とを両立させる観点から、所属長（人事権者）に承諾を得ること。
- 2) 本法人以外の機関に常勤職員として勤務しており、入学後もその身分を有する者。（学外社会人）
本法人以外の機関に常勤として勤務する者の専攻分野は「最新医学研究コース」とする。

最新医学研究コースに出願できる者は、以下a～cの全ての条件を満たす者とする。

- a. 出願時に病院、診療所、研究所、教育機関又は保健機関等(本学施設を除く)に勤務しており、入学後もその身分を有し、勤務先の機関長又は任命権者の受験及び就学の承諾を受けた者
- b. 4ページ4. 出願資格1)～4)のいずれかに該当する者。
- c. 原則として、医師法に定める2年以上の臨床研修を修了している、または2027年3月修了見込みの医師である者。

*医師以外の者が申請する場合には、以下の「原則として初期臨床研修の修了を要さない専攻分野」の研究指導教員から事前に了承を得ること。

【原則として初期臨床研修の修了を要さない専攻分野】

生体構造学、生体統合制御学、疾患プロテオーム・分子病態治療学、臨床微生物・感染制御学、臨床薬理学、病理病態学、再生医学・免疫病態医学、健康・環境制御医学、法医学、難治性疾患病態制御学、スポーツ医学、臨床検査医学、感染症学、リハビリテーション医学、分子神経科学、バイオインフォマティクス学

3. 大学院特待生制度

大学院特待生制度は、以下a～cの全ての条件を満たした者を対象とします。

- a. 本学医学部卒業時に、明石賞または医学会賞を授与された者。
- b. 本学医学部卒業後5年以内に、本学大学院入学試験に合格した者。
- c. 大学院修了後も引き続き本学で教育・研究に従事し、医学研究の発展に寄与できると判断された者。

大学院特待生は、4年間に納付すべき入学金および授業料を免除される。

ただし、最新医学研究コースを専攻する者（学外社会人）は、大学院特待生制度の対象とならない。
詳細は、大学院・研究推進課大学院係にお問い合わせください。

4. 出願資格

【一般入学試験】

出願できる者は、次の各号の一に該当する者とします。

- 1) 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校（医学教育部医学科）を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
- 2) 外国において学校教育における18年間の課程（最終の課程は医学、歯学または獣医学、薬学）を修了した者および2027年3月修了見込みの者。
- 3) 文部科学大臣の指定した者。

（注）文部科学大臣の指定した者とは、次のうちいずれかに該当する者をいう。

- ① 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む）で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
 - ② 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く）を卒業し並びに防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校（医学教育部看護学科）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- 4) 本大学院が、大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力がある、と認めた者。

注（1）受験を希望する者は、出願前に希望する専攻分野の研究指導教員から、出願の許可を得ること。

（2）1）、3）、4）の「大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学とする。

※ 出願資格1）に該当する者は、出願資格審査を必要としない。

※ 出願資格2）、3）、4）に該当者は、出願前に出願資格の審査を受け、その結果に基づき出願すること。詳細は5ページ「5.出願資格審査」を参照すること。

5. 出願資格審査

出願資格2)、3)、4)に該当する者は、下記受付期間内に必要書類を提出し、事前に出願資格審査を受けてください。

審査結果は指定した期日までに通知します。

学内の書類審査にて出願資格が認定されたのち、出願手続きをしてください。

1. 出願資格の個別審査書類受付期間（締切日必着）

	出願資格審査申請受付締切日	出願資格審査結果通知日
第1次募集	2026年 9月3日（木）	2026年 10月 2日（金）
第2次募集	2026年 12月3日（木）	2026年 12月24日（木）

※出願資格審査結果通知日までに通知のない場合は問い合わせること。

※第2次募集は第1次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。

2. 提出書類

1. 入学試験出願資格認定申請書	本学所定用紙
2. 研究業績目録	本学所定用紙
3. 成績証明書	出身大学・大学院の長が発行したもの
4. 卒業証明書	出身大学・大学院の長が発行したもの

3. 提出先

提出の際は、必ず事前にご連絡のうえ、郵送してください。

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

聖マリアンナ医科大学 教学部 大学院・研究推進課 大学院係

Tel. 044-977-8111（代） 内線：4061～4065

メール daigakuin@marianna-u.ac.jp

出願書類一式を「大学院医学研究科出願書類在中」と朱書きした封筒に入れ、必ず郵便局から「書留」で郵送してください。

締切日必着とします。締切日の消印有効ではありません。

6. 出願手続

1. 出願期間

第1次募集	2026年8月28日(金)から10月6日(火)午後5時まで
第2次募集	2026年12月1日(火)から12月28日(月)午後5時まで

※第2次募集は、第1次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行います。

※試験日は、第1次募集・第2次募集における本試験の日程のみとします。

感染症対策として、試験当日に発熱等の症状がある方は受験できないことがあります。そのため、可能な限り第1次募集で受験してください。

なお、上記の理由により第1次募集入学試験を受験できなかった場合は、第2次募集入学試験の検定料を免除します。

2. 出願書類等

1	入学願書A B C D	本学所定用紙。AおよびD裏面も記載すること。
2	入学検定料	30,000円 検定料を振込みのうえ振込証明書等の写しを貼付すること。
3	写真	2枚(縦4cm×横3cm)願書(A)および名票(B)に貼付すること。 写真は最近3ヶ月以内に撮影したもので、上半身・脱帽・無背景に限る。 裏面に氏名を記入すること。スーツ着用で撮影したもの。
4	志望理由書	本学所定用紙。
5	成績証明書	本学医学部以外の大学等を卒業した者 出身大学(学部)長が発行し、厳封したもの。
6	卒業(見込)証明書	本学医学部以外の大学等を卒業した者 出身大学(学部)長が発行したもの。
7	臨床研修修了(見込)証明書	聖マリアンナ医科大学病院・川崎市立多摩病院・横浜市立西部病院以外で臨床研修修了(見込)の者 臨床研修病院が発行した臨床研修修了証の写し、または臨床研修修了証明書を提出すること。 臨床研修修了見込みの者は、出願時に臨床研修修了見込証明書を必ず提出すること。また2027年4月1日までに、臨床研修修了証の写し、または臨床研修修了証明書を提出すること。
8	医師免許証等の写し	医師は医師免許証、医師以外の者で、看護師、薬剤師、管理栄養士等の資格を有する場合は、当該免許証の写しを、A4版に縮小コピーして提出すること。

9	受験及び就学承諾書 (最新医学研究コース対象)	本法人以外の常勤職員として勤務している者 本学所定用紙。所属する機関の長又は任命権者が発行したもの。
10	大学院研究科成績証明書	他大学院を修了(見込)の者および退学者 出身大学(研究科)長が発行し、厳封したもの。
11	大学院研究科課程修了(見込)証明書	他大学院を修了(見込)の者 出身大学(研究科)長が発行したもの。
12	特別永住者証明書	日本以外の国籍を有する者 特別永住者証明書又は在留資格カードの写し。有効期間記載のもの。

※ 外国の大学が発行した場合、和訳を添付してください。

※ 外国語(英語)試験免除を希望する者および日本語を母国語としない受験者は、9 ページの2) 3) を参照のうえ、必要書類を提出してください。

〈出願上の注意事項〉

1. 出願書類に記入漏れやその他の不備のある場合は、出願を受理しないことがあります。
2. 受理された出願書類および入学検定料は、理由の如何を問わず一切返却しません。
3. 出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格を取り消すことがあります。
4. 氏名は戸籍に記載された文字を正確に記入し、外国籍の者は特別永住者証明書または在留資格カードに記載された氏名を用いてください。
5. 出願手続完了後は、志望する専攻分野を変更することはできません。
6. 志望する専攻分野の研究指導教員の下承を得て、入学願書に所属長印を受けてください。

3. 入学検定料の納入方法

1) 本学所定振込用紙で振込のうえ、入学検定料振込証明書を出願書類Cに貼付し提出してください。または金融機関およびATMならびにネットバンキング等で下記の口座に電信扱いで振込みのうえ、振込金受領書の写し、またはATMの利用明細票の写し、あるいはネットバンキングによる振込完了画面を印刷したものを、出願書類Cに貼付し提出してください。

2) 振込先銀行

みずほ銀行 向ヶ丘支店 普通 550789

ガッコウホウジンセイマリアンナイカダイガクリジチョウアカシカツヤ

口座名 (学) 聖マリアンナ医科大学 理事長 明石勝也

4. 出願方法

【出願書類を持参する場合】

提出場所 難病治療研究センター2階 大学院・研究推進課

受付時間 平 日：午前9時～午後5時
土曜日：午前9時～正午

【出願書類を郵送する場合】

出願書類一式を「大学院医学研究科出願書類在中」と朱書きした封筒に入れ、必ず郵便局から「書留」で郵送してください。

締切日必着とします。締切日の消印有効ではありません。

送付先 〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1
聖マリアンナ医科大学 教学部 大学院・研究推進課 大学院係
Tel. 044-977-8111 (代) 内線：4061～4065

5. 受験票受取期間

受験票は下記期間内に、大学院・研究推進課大学院係にて受領してください。下記期間内に受取りができない場合は、事前に申し出いただければ郵送による対応も可能です。

第1次募集：2026年10月15日（木）から10月23日（金）まで

第2次募集：2027年1月4日（月）から1月6日（水）まで

受付時間 平 日：午前9時～午後5時
土曜日：午前9時～正午

※日曜・祝祭日の事務取扱はいたしません。

7. 選抜方法

1) 選抜方法

入学者は、外国語（英語）試験、面接試験（口頭試問）および出身大学の成績証明書の内容等を総合し、選抜される。

2) 外国語（英語）試験について

受験者は、出願時に「外国語（英語）試験受験（英文和訳等）」と「外国語（英語）試験免除」を選択できる。

「外国語（英語）試験免除」を希望する者は、出願時に以下（1）～（4）のいずれかの証明書を提出すること。

【外国語（英語）試験免除条件】

以下（1）～（4）のいずれかを満たしている場合は、外国語（英語）試験を免除する。希望者は、受験願書とともに以下（1）～（4）のいずれかの証明書を提出すること（原本を提出のこと。確認後に写しを取り、原本は返却する）。2020年1月1日以降の記録を原則とする。

(1) TOEFL（トーフル） iBT：76点以上、PBT：540点以上

(2) IELTS（アイエルツ） 6.0以上

(3) TOEIC（トエイック） 700点以上

(4) CET（中国の大学英語試験）6級合格（中国では6級は大学院入学の条件）

※希望者は認定書または合格通知書（スコアシート等一定基準が確認できる書類）を提出すること。

3) 日本語を母国語としない受験者について

日本語を母国語としない受験者は、日本国際教育支援協会（国内）・国際交流基金（国外）が実施する日本語能力試験（略称 JLPT）N5 以上（旧試験において4級以上）の合格者であることが望ましい。上記合格者は、証明書を出願時に提出すること（原本を提出のこと。確認後に写しを取り、原本は返却する）。

8. 入学試験

1. 試験日程

第1次募集試験日程

出願期間	2026年8月28日（金）から10月6日（火）午後5時まで	
試験日	2026年11月6日（金）	
試験会場	医学部本館3階 大学院講義室1・2 （面接試験に関しては指定された場所で行う）	
試験科目・時間	入室時間	8:30～8:45
	受験上の諸注意	8:50～9:00
	外国語（英語）試験	9:00～10:30
	面接試験（口頭試問）	11:00～ 面接試験の場所および時間は、試験前日までに志望専攻分野の研究指導教員に確認しておくこと。
合格発表日	2026年12月3日（木） 午後2時	
入学書類交付期間	2026年12月3日（木）から12月9日（水）まで	
入学試験期間	2026年12月4日（金）から12月18日（金）まで	

第2次募集試験日程

出願期間	2026年12月1日（火）から12月28日（月）午後5時まで	
試験日	2027年1月8日（金）	
試験会場	医学部本館3階 大学院講義室1・2 （面接試験に関しては指定された場所で行う）	
試験科目・時間	入室時間	8:30～8:45
	受験上の諸注意	8:50～9:00
	外国語（英語）試験	9:00～10:30
	面接試験（口頭試問）	11:00～ 面接試験の場所および時間は、試験前日までに志望専攻分野の研究指導教員に確認しておくこと。
合格発表日	2027年2月4日（木） 午後2時	
入学書類交付期間	2027年2月4日（木）から2月10日（水）まで	
入学試験期間	2027年2月5日（金）から2月19日（金）まで	

- ※ 外国語（英語）試験については、辞書（電子辞書含）の持ち込みを許可します。
ただし、翻訳・通信機能を有する電子機器（携帯電話、通信機能付き時計等を含む）は不可とします。
また、フレーズ辞書および参考書等は、電子辞書・辞書共に使用不可とします。
- ※ 面接試験（口頭試問）では、志望する専攻分野に関する知識や論理的思考等を問います。
- ※ 第2次募集は、第1次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ実施します。
- ※ 天候等の影響により試験開始時刻を変更する場合があります。
- ※ 試験当日は、8時45分までに入室し、指定された席に着席のうえ、受験票を机の上に提示してください。
- ※ 原則として、試験開始30分を経過した場合、試験会場への入場を認めません。

9. 合格発表

合否結果は、学内掲示および本学ホームページにて確認することができます。

- ・ 掲示期間：1週間
- ・ 掲示場所：本学医学部本館1階公示板および3階大学院掲示板
- ・ 本学ホームページ：<https://www.marianna-u.ac.jp/gs/gs.html>

注意：電話や郵便などによる合否に関するお問い合わせには一切応じません。なお、万一、ホームページの掲載内容と本学公示板・掲示板の内容に相違がある場合は、本学公示板・掲示板の内容を優先します。

10. 入学手続

合格者には、合格証および入学手続書類を交付しますので、受験票を持参のうえ、大学院・研究推進課 大学院係にて受領してください。

なお、下記期間内に受取りができない場合は、事前に申し出いただければ郵送も可能です。

10 ページ「8.入学試験」にて入学手続締切日を確認し、定められた入学手続締切日までに手続きを完了してください。期間内に手続きを完了しなかった者は合格を取り消すものとします。

提出場所 難病治療研究センター2階 大学院・研究推進課

受付時間 平 日：午前9時～午後5時

土曜日：午前9時～正午

※日曜・祝祭日の事務取扱はいたしません。

郵送する場合は入学手続き期間内に必着のこと。

送付先 〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

聖マリアンナ医科大学 教学部 大学院・研究推進課 大学院係

Tel. 044-977-8111 (代) 内線：4061～4065

1) 入学手続書類

学籍原簿	本学所定用紙
誓約書・保証書	本学所定用紙
学生カード	本学所定用紙
住民票	1通
写真3枚	学籍原簿・学生カードに各1枚貼付、学生証用に1枚提出

2) 学納金

入学者の納入すべき学資は下表のとおりです。入学手続期間内に完納してください。

なお、入学手続完了後に入学を辞退する場合は、2027年3月31日(水)午後5時までに申し出ることで、入学金を除く学資を返還します。

	初年度学資	次年度以降学資
入 学 金	¥100,000	—————
授 業 料	¥400,000	¥400,000
合 計	¥500,000	¥400,000

*別途学位審査手数料(70,000円)、医学会費(4年間で21,000円)などが必要です。

(上記金額は2026年4月1日現在のものです)

11. 奨学金制度

本学では教育の機会均等の観点から、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的事由により学業の継続が困難な者に対して学資の援助を行っています。

区分	項目	対象者	貸与額
本学	大学院奨学金	学資支弁が困難でかつ学業、人物、健康ともに良好であると認められる者	貸与月額 50,000 円
学外	日本学生支援機構奨学金	人物、学業ともに特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく修学が困難な者	貸与月額 (2026年度実績) 80,000 円・122,000 円 又は 50,000 円～150,000 円

* 上段は本学奨学生選考委員会、下段は日本学生支援機構が選考する。

12. 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、学生が正課授業中または課外活動中の急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合、保険金が支払われる互助救済制度です。保険料は大学が負担しており、学生が安心して研究活動に取り組めるよう、全学生を対象として加入しています。

13. 個人情報保護

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱います。

1. 利用目的

出願に当たって提供された氏名、住所およびその他の個人情報は、次に掲げる目的に利用する。

- 1) 入学者選抜、合格発表、入学手続き等入学までの一連の業務を行うため。
- 2) 入学後の学籍関係(各種学籍管理処理および各種証明書発行等)、修学関係(学業成績等)およびそれらの各種連絡や通知を行うため。

2. 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとする。

- 1) 本大学院の入学者について、名簿作成および各種連絡や通知等に使用するために、本学の同窓会である聖医会等に提供する場合、また、学位授与関係等の報告のために提供する場合。
- 2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

14. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の相談受付

1. 時期、方法

疾病・負傷・障害等がある入学志願者のうち、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願時に大学院・研究推進課大学院係にご相談ください。

必要に応じ疾病等に関する書類の提出や面談を求めることがあります。

2. 出願時以降に疾病等が生じた場合

出願時以降に生じた疾病等により受験上または修学上の配慮が必要となった者は、速やかに大学院・研究推進課大学院係にご連絡ください。

15. 問い合わせ先

聖マリアンナ医科大学 教学部 大学院・研究推進課 大学院係

住 所 〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

Tel 044-977-8111 (代) 内線：4061～4065

メール daigakuin@marianna-u.ac.jp

受付時間 平 日：午前9時～午後5時

土曜日：午前9時～正午

※日曜・祝祭日

年末年始（2026年12月29日～2027年1月3日）の事務取扱はいたしません。

16. 専攻分野・研究指導教員

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
生体構造学	池森 敦子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機能組織学・臨床組織学的研究 2. 人体構造学・臨床解剖学的研究 3. 腎臓病研究 4. 骨の解剖学および形態人類学的研究 5. 上皮細胞のイオン輸送機構 6. ホルモンによる組織形成調節機構 7. 細胞膜損傷の修復機構 8. 脳内ペプチドによるシグナル伝達機構
大学院専用アドレス ; daigakuin-seitaikouzou@marianna-u.ac.jp		
生体統合制御学	幸田 和久	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゴナドトロピン分泌の中枢性調節機序 2. 痛み行動の性差の神経基盤 3. 子育て行動の神経基盤 4. 摂食行動調節の神経基盤 5. 小脳の可塑性の神経基盤
大学院専用アドレス ; daigakuin-integrative@marianna-u.ac.jp		
疾患プロテオーム・分子病態治療学	鈴木 真奈絵	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロテオミクスによる治療標的蛋白質の探索 2. プロテオミクスによるバイオマーカの探索 3. 疾患特異的蛋白質翻訳後修飾の解析 4. 自己免疫疾患の病因病態の分子解析 5. シェディングに関わる細胞表面蛋白質の解析 6. ライリンの機能解析 7. 炎症性疾患における病態機序の解析
大学院専用アドレス ; daigakuin-clinproteomics@marianna-u.ac.jp		
臨床微生物・感染制御学	竹村 弘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗微生物薬の薬効評価 2. 宿主・病原微生物・抗微生物薬の相互関係の解明 3. 多剤耐性菌 (AMR) の耐性機序と分子疫学の解析 4. 各種成分の抗菌作用および併用効果の評価 5. 次世代シーケンシング (NGS) により進化した細菌の全ゲノム解析 6. 生体内模倣感染モデル (Hollow-Fiber Infection Model) を用いた新規治療戦略の検討 7. One Health アプローチに基づく感染症制御システムの構築 8. 病原真菌と細菌の相互作用解明
大学院専用アドレス ; daigakuin-clinmicrobiol@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
臨床薬理学	木田 圭亮	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本人の消化管・肝臓に発現する薬物代謝酵素の機能解析 2. 日本人の肝細胞を用いた薬物相互作用の研究解析 3. 循環器疾患治療薬の臨床薬理学的研究 4. 臨床研究の教育に関する研究 5. 脂肪組織を用いた再生医療に関する研究 6. G 蛋白質共役型受容体の機能解析と疾患の関連性の解明
大学院専用アドレス ; daigakuin-cpt@marianna-u.ac.jp		
病理病態学	小池 淳樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腫瘍発生に関する分子病理学的研究 2. 胆道・膵腫瘍の病態に関する研究 3. 乳腺疾患病態病理学的・治療学的研究 4. 神経内分泌腫瘍の病態に関する研究 5. 腎・泌尿器疾患に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-pathology@marianna-u.ac.jp		
再生医学・免疫病態医学	宮部 斉重	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体イメージングを用いた病態の可視化 2. 炎症性疾患における免疫細胞の動態解析 3. 腸内免疫応答メカニズムの解明 4. 自己免疫疾患の病態解析並びに新規治療開発 5. 再生医療における組織修復の分子メカニズムの解明
大学院専用アドレス ; daigakuin-immunology@marianna-u.ac.jp		
健康・環境制御医学	高田 礼子	<ol style="list-style-type: none"> 1. アスベストやヒ素化合物等の有害環境物質による健康障害の予防・根絶に向けた研究 2. 遺伝的感受性素因からの疾病予防に関する研究 3. 遺伝性疾患の機能解析 4. 健康・臨床情報を用いた疫学研究 5. 臨床指標を用いた PDCA サイクルに基づく医療の質の改善の取り組み
大学院専用アドレス ; daigakuin-preventive-med@marianna-u.ac.jp		
法医学	呂 彩子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 突然死に関する法医病理学的研究 2. 循環系突然死に関する病理形態学的研究 3. 薬毒物等の LC-MS 分析法の開発 4. 薬物の生体内代謝に関する研究 5. 死後画像診断法に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-legalmedicine@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
難治性疾患病態制御学	遊道 和雄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 難治性疾患の病因、病態の研究 2. 骨関節疾患の次世代再生医療技術の創生 3. 医療に向けて、ナノテクノロジーを応用したナノメディシンの開発 4. 知財研究、とくに研究成果の社会還元 5. ゲノム医療に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-nanchishikkan@marianna-u.ac.jp		
総合診療内科学	大平 善之	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病歴情報や身体診察の操作特性、診断エラーなど、臨床推論に関する研究 2. 患者受療行動、患者意思決定支援に関する研究 3. ポリファーマシー、薬物有害事象、処方最適化などに関する研究 4. 地域で捉えた高齢者医療・家庭医療に関する研究 5. プライマリ・ケアの場で必要な迅速診断キットに関する研究 6. 卒前・卒後教育に必要なクリニカルスキルに関する研究 7. 地域医療連携システム、医療経済、医療政策に関する研究 8. リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-gim@marianna-u.ac.jp		
呼吸器内科学	※1 峯下 昌道	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気道狭窄に対する呼吸器インターベンション 2. 気道内圧、および呼気中 CO₂, O₂ を用いた呼吸生理学的検討 3. 難治性気胸の治療 4. COPD の内視鏡的治療 5. 肺癌の診断と治療 6. 気管支腔内超音波検査法 7. レーダーを用いた呼吸モニター及び肺機能検査 8. 高齢者における呼吸器疾患
大学院専用アドレス ; daigakuin-respiratory@marianna-u.ac.jp		
循環器内科学	明石 嘉浩	<ol style="list-style-type: none"> 1. 弁膜症のカテーテル治療 2. 運動負荷エコーによる心機能解析 3. 心臓超音波を用いた心機能指標の評価 4. 低心機能患者に対する心室再同期治療 5. 難治性不整脈に対するカテーテル治療 6. 心臓リハビリテーション 7. デジタル循環器病学
大学院専用アドレス ; daigakuin-cardiology@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
消化器内科学	立石 敬介	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器疾患におけるヒト・病原体のゲノム解析 2. エピゲノム研究と消化器内科学 3. B型肝炎から脂肪肝まで；肝癌発生機序の研究 4. AI を用いた消化器内科学研究 5. 新しい消化器内視鏡診断および治療手技の開発研究 6. 膵癌・胆道癌など消化器癌の病態・診断と治療法の探索 7. 炎症性腸疾患（IBD）の研究
大学院専用アドレス；daigakuin-shokakinaika@marianna-u.ac.jp		
腎臓・高血圧内科学	柴垣 有吾	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腎疾患におけるサルコペニアの発症・進展機序の解明 2. 脂肪酸結合蛋白の腎保護作用の検討とその応用 3. CKD における血管障害と病態の臨床的検討 4. レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系と腎障害発症・進展への関わり of 基礎的および臨床的検討 5. 腎血行動態と腎障害の関係の基礎的および臨床的研究 6. 腎移植ドナーの予後に関する研究 7. 腹膜透析の長期予後に関わる基礎研究 8. 高齢 CKD 患者の身体認知機能に関する研究 9. アウトカムとしての希望に関する研究
大学院専用アドレス；shibagaki@marianna-u.ac.jp		
代謝・内分泌内科学	曾根 正勝	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代謝障害とミトコンドリア機能に関する研究 2. 糖尿病合併症に関する研究 3. 糖尿病と栄養・食事療法に関する研究 4. 原発性アルドステロン症の多施設共同レジストリ研究 5. 下垂体・甲状腺・副腎疾患の疫学研究 6. iPS 細胞/ES 細胞を用いた代謝・内分泌臓器の機能解析
大学院専用アドレス；daigakuin-metabolism@marianna-u.ac.jp		
脳神経内科学	山野 嘉久	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳卒中の最先端診断・治療法と医療システムの開発 2. 神経難病の分子病態解明と新規治療法の開発 3. 神経疾患における病原体と免疫応答の相互作用の解明 4. 神経疾患におけるゲノム・マルチオミックス解析研究 5. 人工知能（AI）を活用した診断・治療支援技術の研究 6. iPS 細胞を活用した神経再生・病態モデル研究 7. 神経超音波を用いた新規診断技術の開発 8. 遠隔医療・デジタルデバイスを活用した神経疾患診療の革新
大学院専用アドレス；daigakuin-neurology@marianna-u.ac.jp		
血液・腫瘍内科学	新井 文子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 難治性血液疾患の病態解明と治療法の開発 2. 慢性活動性 EB ウイルス感染症の病態解明と治療法の開発 3. EB ウイルスによる発がん機構の解明 4. 多発性骨髄腫に対する治療法の開発 5. 染色体・遺伝子変化に基づいた B 細胞性リンパ腫/白血病治療法の開発
大学院専用アドレス；daigakuin-hematology@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	川畑 仁人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人及び小児関節炎疾患の病態解明及び移行期医療に関する研究 2. 新たな細胞集団解析法に基づく膠原病の病態解明と治療への応用 3. 難治性血管炎の病態解析と治療法の確立 4. 皮膚筋炎の病態を反映するバイオマーカーの開発 5. リウマチ性疾患における感染症のリスク解析と予防法の開発 6. 膠原病合併間質性肺炎の新規バイオマーカー 7. 膠原病合併間質性肺炎に対する抗線維化療法
大学院専用アドレス ; daigakuin-rheum-allergy@marianna-u.ac.jp		
小児科学	清水 直樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期（集中治療）ヘリウムと超高頻度振動換気、心肺蘇生/ECMO、病棟医療安全、搬送遠隔医療、バイタルビッグデータ（新生児）早産低出生体重児の薬物動態と生理的パラメータ（循環器）新生児左房機能、川崎病新規治療 2. 神経遺伝：長時間ビデオ脳波検査有用性、抗てんかん薬血中濃度にかかる研究 3. 感染免疫：住民健康改善に資する多地域コホート研究、新興再興感染症サーベイランス 4. 血液腫瘍：血友病患者 QOL 実態調査、ステロイド抗血栓性機序解明、FVIIa 滑膜炎抑制効果、小児リンパ腫の治療診断・バイオマーカー開発 5. 総合：（救急）死因究明：虐待診断、海外医療協力（腎臓・消化器・代謝・内分泌）代謝病オプショナルスクリーニング
大学院専用アドレス ; daigakuin-pediatrics@marianna-u.ac.jp		
神経精神科学	中川 敦夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. うつ病をはじめとする感情障害やストレス障害の診断・治療・予後に関する臨床研究 2. 神経発達症、摂食症などの児童・思春期精神医学領域の臨床的研究 3. 統合失調症に関する臨床研究 4. 認知行動療法やデジタルヘルスケアの開発ならびに実装研究 5. 認知症疾患の早期状態に関する臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-psychiatry@marianna-u.ac.jp		
放射線診断・IVR 学	※1 三村 秀文	<ol style="list-style-type: none"> 1. CT、MRI、超音波を用いた生体高精細イメージングの研究 2. CT、MRI、核医学（PET など）を用いた生体機能イメージングの研究 3. 救急医療における先端画像診断の合理的利用方法の研究 4. 新しいインターベンショナルラジオロジー（IVR）の開発 5. 脈管奇形 IVR の研究 6. 画像診断領域の AI の活用に関する研究
大学院専用アドレス ; housha@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
放射線治療学	中村 直樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高精度放射線治療を用いた新規治療開発 2. 緩和的放射線治療の適応拡大に関する研究 3. 緩和的放射線治療の評価尺度開発 4. 寡分割照射法の開発 5. 空間分割放射線治療 (SFRT) および Lattice 放射線治療の最適化と臨床応用に関する研究 6. 高精度放射線治療における三次元線量検証および品質保証 (QA) 手法の開発と標準化
大学院専用アドレス ; radiationoncology@marianna-u.ac.jp		
皮膚科学	門野 岳史	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷治癒のメカニズムと細胞成長因子の役割 2. 悪性黒色腫細胞の増殖に関わる因子とその制御 3. 血管炎症候群の病態生理 4. アトピー性皮膚炎の発生メカニズムと治療 5. 皮膚リンパ腫の発生メカニズムと治療 6. 乾癬、接触皮膚炎などの皮膚炎症の制御 7. 悪性黒色腫に対する腫瘍免疫の制御
大学院専用アドレス ; daigakuin-dermatology@marianna-u.ac.jp		
腎泌尿器外科学	菊地 栄次	<ol style="list-style-type: none"> 1. 膀胱癌におけるマイクロ RNA を用いた診断法と治療法の開発 2. 移植腎生検における急性拒絶反応の低侵襲診断法の確立 3. 移植腎の長期予後を決定づける因子の解明 4. 尿路感染症の鑑別診断法に関する研究 5. 腎移植後の免疫抑制剤の至適血中濃度に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-urology@marianna-u.ac.jp		
消化器・一般外科学	民上 真也	<ol style="list-style-type: none"> 1. フレイルの指標に関する研究 2. 食道扁平上皮癌の遺伝子変異と免疫チェックポイント阻害剤との関連 3. 食道癌患者の周術期嚥下機能の評価に関する研究 4. 閉塞性大腸がん症例に対する大腸ステントの術後短期成績に及ぼす影響に関する研究 5. 膣頭十二指腸切除術における手術前後の栄養状態評価に関する研究 6. 消化器外科領域の Surgical Site Infection の発生要因とその対策に関する研究 7. 膿瘍形成性虫垂炎の治療方針の検討 8. 肝切除限界の術中評価法に関する研究 9. 消化器外科領域手術における術後合併症発生を予測するための要因に関する研究 10. 腹部外傷症例に対する至適術式に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-ggsurgery@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
心臓血管外科学	縄田 寛	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低侵襲弁膜症手術に関する研究 2. ハイブリッド治療による胸部大動脈瘤手術低侵襲化に関する研究 3. 重症心不全の外科治療の研究 4. 再生医療による人工血管作成に関する研究 5. 心臓手術周術期の体液バランスに関する研究 6. 心臓手術患者の frailty に関する研究 7. 先天性心疾患における血流解析を用いた血行動態評価に関する研究 8. 心筋保護法の最適化に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-cardiovascular@marianna-u.ac.jp		
呼吸器外科学	佐治 久	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進行肺癌に対する集学的治療開発に関する臨床試験 2. 肺癌遺伝子異常と分子標的治療および免疫治療の研究 3. 人工気管の開発 4. AI による胸部医用画像の精密解析 5. 胸膜被覆材料の研究 6. 肺癌外科治療におけるエネルギーデバイスの役割 7. プロテオゲノミクス解析による肺癌治療の研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-chestsurgery@marianna-u.ac.jp		
小児外科学	古田 繁行	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児悪性固形腫瘍に対する CAR-T 細胞療法の確立に向けた基礎研究 2. 多嚢腎発生メカニズムの解明 3. 膀胱羊水腔シャントチューブの開発 4. 胆道閉鎖症の発生メカニズムに関する解析 5. 気管軟化症に対する新規治療法の開発 6. 小児声門下狭窄症に対する鼻腔粘膜細胞シートを用いた新規治療法の開発
大学院専用アドレス ; r2kobaya@marianna-u.ac.jp		
乳腺・内分泌外科学	津川 浩一郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳癌低侵襲手術の適応拡大と整容性向上 2. 皮膚温存・乳頭乳輪温存乳房切除および乳房再建術の安全性と整容性向上 3. 乳癌センチネルリンパ節生検の適応拡大と長期成績 4. 乳癌術前薬物療法の効果判定と効果予測 5. 乳癌分子標的療法の効果予測と治療成績 6. 転移乳癌における転移パターンの解析 7. 乳癌診療分野における人工知能 (Artificial Intelligence (AI)) の活用 8. 副甲状腺組織の赤外線による自家蛍光の解明とその臨床応用 9. 機能性結節性甲状腺における、ホルモン分泌能の解明 10. 乳癌領域の QOL 及び医療経済評価に関する研究
大学院専用アドレス ; e-shimogami@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
脳神経外科学	村田 英俊	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳腫瘍における特異発現タンパクの同定と機能解析 2. 持続脳波モニタリング解析によるてんかん発症メカニズムの解明 3. 脳・脊髄損傷モデルを用いた中枢神経再生研究 4. 脳動脈瘤発生メカニズム解明 5. 脳虚血に伴う neurovascular unit 損傷メカニズム解明 6. 脳神経外科手術における IoT (internet of things) 活用 7. 神経損傷における脳浮腫発生のメカニズム解明 (頭蓋内圧波形解析) 8. 髄液産生吸収のメカニズム解明 9. 頭蓋内圧測定の機器開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-neurosurgery@marianna-u.ac.jp		
整形外科	原口 直樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脊柱側弯症の長期観察研究 2. 転移性脊椎腫瘍および化膿性脊椎炎の集学的治療に関する研究 3. 新鮮凍結屍体を用いた安全な上肢手術アプローチの検討 4. 手指骨折の治療成績向上の研究 5. 新しいセメントレスカップ固定手技に基づいた新しいコンセプトの人工股関節の開発研究 6. 新生児検診による DDH 症例への早期治療介入の手法の確立 7. 前十字靭帯再建患者の筋線維タイプ別の筋力回復、リハビリテーションの適正化 8. 中年期半月板断裂に対して縫合術が変形性関節症予防に有用か 9. 距骨軟骨病変での術後軟骨再生の定量化と予後予測 : T1 ρ マッピングを用いた縦断的研究 10. 変形性足関節症に対する病態解明、評価、治療法の確立
大学院専用アドレス ; daigakuin-ortho@marianna-u.ac.jp		
産婦人科学	鈴木 直	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレコンセプションケアに関する研究 2. 卵巣組織凍結・移植に関する基礎的研究と臨床応用 3. 抗がん剤の性腺毒性に関する研究 4. 人工卵巣開発に関する研究 5. 精巣組織凍結に関する研究 6. 婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療薬開発に関する分子生物学的検討 7. 婦人科がん治療における QOL 評価 (PRO) の検証に関する研究 8. 小児・思春期がんサバイバーの長期フォローアップに関する研究 (女性ヘルスケア) 9. 骨粗鬆症の診断に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-sanpu@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
眼科学	北岡 康史(兼)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑内障モデルにおける分子生物学的研究 2. 緑内障手術における予後に影響する各種因子の研究 3. 緑内障点眼薬による眼組織への薬理学的研究 4. 糖尿病モデルにおける分子生物学的研究 5. 網膜血管内皮細胞を用いた分子生物学的研究 6. 硝子体手術における予後に影響する各種因子の影響 7. 抗 VEGF 薬の眼組織への分子生物学的研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-ophthalmology@marianna-u.ac.jp		
耳鼻咽喉科学	小森 学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児動揺病の新規治療法開発の研究 2. ストレス測定とめまい発作予防法の開発 3. めまい疾患に対する外科的治療法の開発 4. 小児声門下狭窄に対する粘膜シート治療の研究 5. 側頭骨骨折と内耳振盪に関する研究 6. 骨導インプラントに関する基礎研究 7. 感覚器障害とフレイルに関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-otolaryngology@marianna-u.ac.jp		
麻酔学	井上 莊一郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周術期における AKI の研究 2. 医療処置における動作、視線の解析 3. 周術期の超音波機器を用いたモニタリング 4. 各種術後鎮痛法の研究 5. 気管ステント挿入術における麻酔法の検討 6. シミュレーターを用いた教育手法の開発 7. 周術期の循環動態モニタリング
大学院専用アドレス ; daigakuin-anesthesiology@marianna-u.ac.jp		
形成外科学	松本 洋	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部再建術後の患者 QOL 評価 2. 乳房再建術後の患者 QOL 評価 3. 皮弁血行の解剖学的研究 4. 組織移植における皮弁内血行動態変化に関する研究 5. 動物を用いないマイクロサージャリートレーニング法の開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-prs@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
救急医学	藤谷 茂樹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重症病態における組織酸素代謝／体液管理／血管壁透過性異常／栄養管理の研究、shock の基礎的研究 2. Rapid Response System (RRS) 院内急変対応システムについての研究と普及 3. 脳蘇生：NIRS（脳血流の近赤外分光法）を用いた評価 4. 救急遠隔医療システムを応用した病院前からの院内及び多施設間までの急変対応医療機器システムの開発 5. アダプティブ RCT (Randomized Clinical Trial) を用いた重症市中肺炎の最適な治療法を迅速に見出す国際研究 (REMAP-CAP)
大学院専用アドレス ; kyukyu-secall@marianna-u.ac.jp		
スポーツ医学	藤谷 博人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 筋損傷、再生への分子生物学的アプローチ 2. 軟骨修復、軟骨再生への新規薬剤の研究、開発 3. 膝・足関節装具のバイオメカニクスに関する研究 4. スポーツ選手（特に成長期）の競技別心身機能特性に関する研究 5. スポーツ外傷・障害の疫学調査と予防法の策定に関する研究 6. アスリートに対する心筋症早期発見のためのスクリーニング方法の検討 7. 持久系競技のアスリートにおける運動耐容能と気候の関係に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-sportsmedicine@marianna-u.ac.jp		
臨床検査医学	山野嘉久（兼）（代行）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患における各種非観血的指標の臨床的意義 2. 医学教育と人材育成に関する研究 3. 遺伝性疾患の診断に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-rinsyokensa@marianna-u.ac.jp		
臨床腫瘍学	砂川 優	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固形がんに対する治療開発に関する研究 2. がん治療における分子腫瘍学に関する研究 3. 化学療法における支持・緩和療法に関する研究
大学院専用アドレス ; oncology-mari@marianna-u.ac.jp		
感染症学	國島 広之	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症迅速診断検査の開発に関わる研究 2. Antimicrobial stewardship に関わる臨床的検討 3. ヒトの Microbiota および薬剤耐性に関わる研究 4. 災害時の感染症危機管理に関わる研究 5. 地域における感染症ネットワーク構築に関わる研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-infectious@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
リハビリテーション医学	佐々木 信幸	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期脳卒中に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 2. 高次脳機能障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 3. 神経難病に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 4. 認知機能障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 5. 心疾患における運動負荷と循環応答 6. 侵襲下における運動負荷と栄養負荷の有効性
大学院専用アドレス ; rehabilitation-002@marianna-u.ac.jp		
緩和医療学	橋口 さおり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緩和ケアニーズと提供体制に関する研究 2. 意思決定支援の方法と教育方略に関する研究 3. 痛みをはじめとする身体的苦痛緩和に関する研究 4. 精神的苦痛緩和に関する研究 5. 緩和医療の医学部卒前教育及び早期の教育についての研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-palcare@marianna-u.ac.jp		
分子神経科学	北岡 康史	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経保護とオートファジーの研究 2. 軸索障害モデルを用いた神経保護とグリアの関係の探索 3. グルタミン酸神経障害の研究 4. 糖尿病の神経細胞に対する影響の研究 5. 老化と神経変性疾患の研究 6. 酸化ストレスと神経細胞死の研究 7. NAD 代謝とサーチュインの分子生物学的研究 8. 脂質代謝改善薬の神経保護研究 9. 緑内障の軸索変性の分子生物学的研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-molneurosci@marianna-u.ac.jp		
バイオインフォマティクス学	山本 博幸	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次世代統合バイオインフォマティクス研究 2. クリニカルバイオインフォマティクス研究 3. がんゲノム解析と臨床応用研究 4. 消化器がんゲノム解析と臨床応用研究 5. 新たながんゲノム医療の創造研究 6. ゲノム統計学の基礎と臨床研究 7. ゲノム情報と臨床情報の統合研究
大学院専用アドレス ; bioinformatics@marianna-u.ac.jp		
周産期発生病態解明学	長谷川 潤一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎盤・臍帯異常の発生メカニズムの解明と管理に関する臨床研究 2. 高精細広帯域低流速カラー Doppler法を用いた産科臨床応用に関する研究 3. 母体急変、妊産婦死亡例の原因分析、再発防止に関する疫学的研究 4. 周産期に関連した脳性まひ児の原因分析、再発防止に関する疫学的研究 5. 産科危機的出血を軽減させるためのデバイスの開発に関する研究
大学院専用アドレス ; hasejun@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
最新医学研究コース (社会人対象)	☆山野 嘉久 (兼) 各専攻分野研究指導教員 (兼) (☆モジュレーター)	研究指導教員により異なるので、指導を受ける教員の頁を参照
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース (内科学)	☆柴垣 有吾 (兼) 大平 善之 (兼) ※1 峯下 昌道 (兼) 明石 嘉浩 (兼) 立石 敬介 (兼) 曾根 正勝 (兼) 山野 嘉久 (兼) 新井 文子 (兼) 川畑 仁人 (兼) 國島 広之 (兼) (☆モジュレーター)	1. 総合診療内科領域における臨床研究 2. 呼吸器内科領域における臨床研究 3. 循環器内科領域における臨床研究 4. 消化器内科領域における臨床研究 5. 腎臓・高血圧内科領域における臨床研究 6. 代謝・内分泌内科領域における臨床研究 7. 脳神経内科領域における臨床研究 8. 血液・腫瘍内科領域における臨床研究 9. リウマチ・膠原病・アレルギー内科領域における臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース (外科学)	☆古田 繁行 (兼) 民上 真也 (兼) 縄田 寛 (兼) 佐治 久 (兼) 津川浩一郎 (兼) 藤谷 茂樹 (兼) (☆モジュレーター)	1. 消化器外科領域における臨床研究 2. 乳腺内分泌外科領域における臨床研究 3. 小児外科領域における臨床研究 4. 呼吸器外科領域における臨床研究 5. 心臓血管外科領域における臨床研究 6. 救急医学領域における臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-surgery@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース (総合診療)	☆大平 善之 (兼) 藤谷 茂樹 (兼) (☆モジュレーター)	1. 病歴情報や身体診察の操作特性、診断エラーなど、臨床推論に関する研究 2. 患者受療行動、患者意思決定支援に関する研究 3. ポリファーマシー、薬物有害事象、処方最適化などに関する研究 4. 地域で捉えた高齢者医療・家庭医療に関する研究 5. プライマリ・ケアの場で必要な迅速診断キットに関する研究 6. 卒前・卒後教育に必要なクリニカルスキルに関する研究 7. 地域医療連携システム、医療経済、医療政策に関する研究 8. リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-gim-h@marianna-u.ac.jp		

専攻分野	研究指導教員	主な研究内容
未来がん医療プロフェッショナル養成コース	☆山野 嘉久 (兼) 砂川 優 (兼) 遊道 和雄 (兼) ※1 峯下 昌道 (兼) 立石 敬介 (兼) 新井 文子 (兼) 清水 直樹 (兼) 中村 直樹 (兼) 民上 真也 (兼) 津川浩一郎 (兼) 鈴木 直 (兼) 山本 博幸 (兼) (☆モジュレーター)	1. がんゲノム解析に関する臨床研究 2. プレシジョン・メディシンの実践を含む臨床研究 3. プレシジョン・メディシンに必要な基礎研究および Translational Research 4. 難治性白血病・リンパ腫に対する新規治療法の研究 5. AYA 世代に対するがん治療について 6. バイオインフォマティクス解析研究について 7. がんと内科的疾患との関連性について
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		

注 : ※1 2027 年 3 月 31 日定年退職のため後任研究指導教員選考予定